

感動新聞

平成 21 年 11 月号 発行者 細川栄一

皆様、こんにちは！ 新型インフルエンザに掛らないようにしましょうね。

ビジネス経営の最前線で頑張っておられる方の役に立つ情報となればと思います。喜んで頂ければ幸いです。

親指

親指一本と四本の指とが、いつも対立しているが、
お茶を飲もうとする時にどの指でもかまわない。
親指と相談した時に、たやすく目的は達せられるが、
もし、親指を除外したら他の指が総がかりでも茶碗を持つことができないし、
お茶を飲むにも不便である、
親指は短く背は低い、
スタイルもおおいに悪い。
節も一つ足りないようだ。

しかし、親指を除外したら何もできなくなるのではないか、
親指と腹を合わせたら何でもたやすくできるのだ、
親指に相談せよ、
親指の徳をいただき、

**親の真心に眼を開け
たとえ全世界が敵となっても
親が最後の味方なのに**

親を粗末にする馬鹿者奴と大自然は指をもって教えている。

元明治神宮宮司 中山正光

明るい顔

明るい顔が
まわりを明るくし
暗い顔がまわりを暗くする
いつもほほえみを失わない
そんな明るい顔を持ち続けたい
自分の顔は
自分が見るためではなく
みんなに見ていただくためにある
そう気がついた時
明るい顔づくりに
真剣に取り組むようになる
心の安定 静かなよろこび
それが顔の表情筋をやわらげて
美しいほほえみをつくりだす
明るい顔づくりは一生の修行である

私の気にいっている詩です。

自分は独りで生きているのではなく、多くの人や大宇宙の摂理の中で、活かされているのですね。

「偉くならなくていい、立派にならなくていい、お役に立つ人になることである。」石川洋